

SLES11 +XEN インストールチェックリスト

2016/11/10

※重要度 ◎ - 必須, ○ - 強く推奨(後で設定可能) △ - 推奨、必要に応じて削除

	項目	重要度	チェック	備考
BIOS	仮想化支援機構	◎		BIOS > CPU 設定
	CD/DVD ブート	◎		BIOS > Boot
	FAST BOOT Disable	△		あればロゴスクリーンの削除
インストール	メディアチェック	○		
	日本語キーボード	◎		
	GMT +9 日本時間	○		
	パーティション作成	◎		
	追加言語日本語	○		
	Runlevel 5	○		
	gnome デスクトップ	○		
	C コンパイラ	○		
	SMB インストール	△		
	WEB/LAMP	△		
インストール 設定	root パスワード	◎		
	ユーザ作成	○		
	FireWall Disable	◎		後に必要であれば Enable に
	物理ネットワーク Disable	◎		
	ネットワークブリッジ	◎		物理ネットワークにバインド
	固定 IP	◎		
	サブネットマスク	◎		
	DNS	◎		
インストール 後	デフォルトゲートウェイ	◎		
	ブートローダーデフォルト	◎		XEN デフォルト
	ブートローダーパラメタ	△		ディスプレイ Normal へ
	リポジトリデータのコピー	◎		/srv/www/htdocs 以下に解凍コピー
	リポジトリ変更	◎		HTTP もしくはローカルディレクトリを優先。 CD/DVD の優先順位を下げる
	Yast2 メニュー追加	○		Yast2 メニューの追加
	SMB ブート設定	△		dualing boot の設定

	SMB パスワード	△		smbpasswd -a でパスワード設定
	Apache インストール	△		リポジトリ配信を行う場合、Dualing Boot
	NTP 設定	◎		内部 NTP もしくはパブリック NTP
再起動後 チェック	Create New VM が出来ること	◎		
	通信ができること	◎		ifconfig, ping, ブラウザで確認
	ISO ファイルの転送ができること	○		smb もしくは scp 等
	時刻同期していること	◎		NTP ログ確認
	リモート接続できること	◎		xming, ssh, putty
	リモートブートできること	◎		shutdown -r 0
	サブスクリプションの登録	◎		リポジトリを確認
	パッチのインストール	◎		
	APC-UPS の設定	△		
管理ソフト ウェア	smartctltools	△		
	sysstat	△		sar コマンド
	sensors	△		sensors-detect を実施し lmsensor を実行
	pmtools	△		
	systemconfig	△		
	lmbench のコンパイル	△		http://www.bitmover.com/lmbench/
	fio のレポジトリの追加	△		http://software.opensuse.org/package/fio
	getstat.sh の編集			http://www.islandcenter.jp/il/qa/getstat/getstat.sh
	sar 1 の実行	△		
	fio 初期ベンチの取得	△		
	bw_tcp の初期ベンチの取得	△		2台以上必要
	getstat.sh の実行	○		/tmp/getstat 以下取得
SUSE Linux の仮想 VM	手順はホストインストールに準じる	◎		
	固定 MAC アドレスを定義	◎		
	/etc/vm/auto の設定	○		シンボリックリンクの作成
	/etc/xen/vm/ からインストールメディアの削除	◎		vm ファイルの確認
	リポジトリの設定	◎		仮想マシン内部か、外部 HTTP サーバへ

Windows 仮想 VM	ISO ファイルの作成とコピー	○		
	Windows インストール手順に応じる	◎		
	固定 MAC アドレスの設定	△		Windows は Auto でも構わない
	VMDP のインストール	◎		デバイスマネージャに SUSE ドライバが導入されていることを確認
	エミュレーション NIC の Disable	◎		デバイスマネージャから realtek ドライバを無効に
	IP の設定確認	◎		SUSE ドライバにバインドされていることを確認
	i386 リポジトリの設定	○		CD メディアの i386 を仮想マシン上にコピー
	リモートデスクトップの設定と確認	◎		
	/etc/xen/auto (自動起動)の設定	○		シンボリックリンクの作成、または virt-manager の boot Options の Auto start のチェック
	/etc/xen/vm/ からインストールメディアの削除	◎		Phy: もしくは iso を削除のこと
	NTPD のインストール	◎		再起動後、時刻が必ず正確なことを確認
	Windows アップデートの実施	○		
補足	FireWall の設定	△		パブリック接続の場合イネーブルに
	SMB, HTTP を Disable1	△		パブリック接続の場合ディゼーブルに リポジトリを使う場合はイネーブルに
	バックアップの設定	△		cron でイメージコピーバッチを作成